

よる農村社会の変化

高橋明善 一 日本の農村社会の変化と農業対応政策

吉沢四郎 一 日本の村落社会研究学会の歴史的発展

出席者は六〇人ぐらいかと思います。発足間もないのですが、一九九一年以来すでに年報「農村社会」を刊行している韓国農村社会学会の力が伺えました。この三冊の年報は四部ずつ寄贈して頂きました。一組は事務局に送り保管方をお願いしました。

また、このシハギュウムでの高橋の報告は Rural Review Vol.

20. No. 1. June, 1993 に掲載されました。(Regional Office for the Far East, Afro-Asian Rural Reconstruction Organization, Seoul E)

韓国農村社会学会定期総会への参加報告

高橋 明善

一昨年の長野の村研大会にも参加され、アジアの国際組織形成に尽力されている王仁槿ソウル大学教授が会長をされていましたが、この総会で崔在律全南大学教授が新会長に選出されました。

総会に出席することによつて多くの韓国の農村社会学者に面識を得るとともに、交流を深めました。日本の研究者を韓国の学会に招待することには障害もあつたと思いますが、韓日国際交流のために、その実現に尽力された王教授の御好意に感謝したいと思います。

学会大会後の二日間、水原にあるソウル大学生命農学部の大学院で吉沢と高橋が講義するとともに、学部長その他に表敬訪問し、また、近くの研究所や、農村の視察を行ないました。王教授とともに、付ききりでお世話頂いた鄭明采氏(韓国農村経済研究院)にも感謝したいと思います。

研究大会では次の三報告が行なわれました。
尹壇燮(全北大学校教授、韓国社会学会長) 一産業化と都市化に